

江原道自転車ツーリングの旅 ②



いりかわ はるひこ
入川 晴彦さん
(鳥取市在住)

入川さんは財團の日本語クラスで講師として活躍中。
昨年10月19日(土)~25日(金)6泊7日(初日と最終日は船中泊)の日程
で韓国・江原道を自転車で走破しました。
ツーリングを通して肌で感じた江原道の様子を紹介します。

■全旅程(6泊7日)

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 |
|---------------|---------------------|--------------|-------------------------|-------------------------|
| トンヘ 東海→注文津 | チヨムンジン 注文津→襄陽→春川 | チヨンジョン 春川 | チヨンジョン ソクチョ 春川→束草→江陵 | カンヌン 江陵→トンヘ 江陵→東海 |

「冬ソナ」だけじゃない、春川の魅力

二日目は高速バスで一路春川へ。車窓から見た紅葉に染まるソラク山は、息をのむような美しさでした。

三日目は、一日かけて春川周辺を自転車で走ることにしました。まず大きなダム湖がいくつも連なる春川市郊外を走った後、遊歩道を抜け、昭陽湖(ソヤンホ)のほとりから遊覧船に約20分乗ります。そこからは散策道を40分あまり歩いて清平寺(チョンピョンサ)を目指しました。清平寺は、四方を山に囲まれていて、雰囲気は荘厳(そうごん)そのものでした。秋の春川、お勧めですよ。

また、春川市中心部にはドラマ「冬のソナタ」の撮影が行われた明洞(ミョンドン)通りがありますが、私がお勧めするのは裏通りです。(お世辞にもきれいとは言えませんが…)ここが楽しくてまさに「市民の台所」と言えるでしょう。



▲明洞通りを抜けたところの裏通り(春川市)

人との出会いも旅の醍醐味

その日の夕方、夕食に何を食べようかと裏通りを歩いていると、「テジクッパ」の看板を発見! 店に入り注文をしていると、むこう側を向いて座敷に横になっている老人の姿が目に入ってきた。 「お店の人かな…」と気になりながらも、テジクッパの美味しさにすぐ夢中になってしまいました。翌朝、6,000ウォン(日本円でおよそ600円)でご飯もおかわり自由な、その味が忘れられず再びその店へ。居たのは昨晩のおじいさん! せっかくだからと昨夜とは



違った種類のテジクッパを注文すると、「ご飯2膳を添えて運んでくれました。私が「ご飯、頼んでないよ」と言うと、「昨日、おいしいおいしいと言ってたくさん食べてくれたじゃないか、今日もたくさん食べてください。」と言って厨房へ戻っていました。おじいさんの心遣いになんだか暖かい気持ちになりました。

ひとり旅をしていると、現地の人だけでなく旅人同士の出会いもあります。途中出会ったシンガポール人とは、道を尋ねられたことから会話が弾み、連絡先を交換しました。その人は今でもメールのやり取りをしています。…旅には思いがけない出会いがありますね。



※テジクッパ／豚骨を煮込んだ白いスープにご飯を入れて食べる料理のこと
「テジ」は韓国語で豚肉、「クッパ」はご飯入りスープのこと

出会いを一生の思い出に

春川市から一歩郊外へ足を運ぶと、そこには田園地帯が広がっていました。私が自転車で走った頃はキムチの主役である白菜が大きく育っていました。三日目の周遊で衣岩湖(ウイアモ)へ行つたのですが、湖の両岸には片道10kmもある<自転車専用>道路が整備されていて、美しい水面と春川市の遠景を見ながら、のんびり走ることができます。道路を走っていると、私のようなシニア世代のサイクリストのグループも何度か見かけました。また地元の食材を露天で売るおばあさんとも会話するなど、庶民の素朴な生活を垣間見ることができて楽しかったです。

四日目は、春川を出発して束草(ソクチョ)、江陵(カンヌン)と移動し、五日目に再び東海(トンヘ)へ戻ってきました。

こうして、7日間にわたる江原道自転車の旅が無事に終わりました。江原道は、かつての日本の田舎を思い出させてくれるような人情味あふれるところで、出発前に想像していたよりはるかに良い印象を受けました。

せっかく地元鳥取県から利用できる航空便や船便があるので、お隣の国を大いに楽しもうではありませんか。



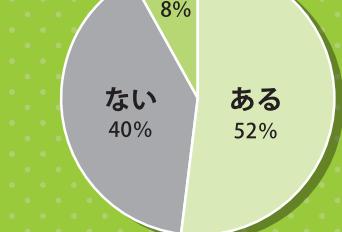
県内在住の外国出身者にアンケート調査を実施し、15の国と地域83名の方々にご協力いただきました。

1

教えて! 世界のゴミ処理事情

まず、「自国(地域)にゴミの分別があるか」尋ねました。「ある」と答えた人が約半数ある一方で、「ない」と答えた人も40パーセントありました。

分からない
(地域によって違う)



知っ得!? 世界のゴミ処理

■回収時間



夜間に回収

日本では、朝、ゴミを出すのが一般的ですが、世界では夜に回収する国も少なくないようです。また、リサイクルできるゴミについては多くの国で分別がされています。ただし、回収方法は様々で、それぞれの国で工夫されているようです。

■リサイクルの回収方法



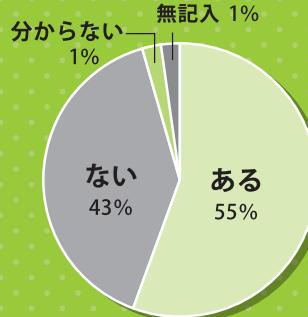
直接業者に販売して換金する

ポイントによって減税の特典がある



自宅の外に回収専用箱が設置されている

在住外国出身者を直撃! ゴミ処理で困ったことはありますか?



■「ある」と答えた方の意見(多い順)



分別が細かい
(分別の仕方が分からない)



地域によって分別の仕方が違い、
情報も得られない



- ・指定袋があるのを知らなかった
- ・不燃ゴミの収集回数が少ない
- ・夜にゴミを出す習慣があるので、朝よく出し忘れる

どうやって
分別すれば
いいの…



この調査結果から、半数以上の外国出身者が日本でのゴミ処理に戸惑っていることが分かります。分別自体は知っていても方法が分からないという意見も多くありました。

外国に住み、その地域のルールに従って心地良く暮らすということは決して簡単なことではありません。まずは適切な情報提供が必要かもしれません。

外国出身者も同じ地域の一員として、お互いに気持ちよく暮らしていく生活の仕組みを作りたいものです。



独立行政法人国際協力機構

JICA

ボランティア経験者に聞く!

今回は、シニア海外ボランティアとして活動した経験がある方のインタビューをご紹介します。

Q.JICAボランティアに参加したきっかけは?

以前、青年海外協力隊としてバンダラデシュへ派遣された娘に、背中を押されたことが一番の理由です。

Q.派遣国での活動内容は?

モンゴルの下水道維持管理技術者の技術力を向上するための支援を行いました。最初はモンゴル下水道の現状、現地の下水道事情を把握することから始めました。そして2年目からは技術者を対象に、処理場の維持管理に関するプレゼンテーションを定期的に実施しました。

Q.派遣国で一番嬉しかったことは?

活動を通して、複数のモンゴル人と知人、友人になれたことです。彼らは一様に親切で、心優しく愛すべき人たちです。

メッセージ

1人でも多くの人に、日本ではできない感動の体験を味わってもらいたいです。関心はあるけれど、あと1歩が踏み出せない方もきっと多いことでしょう。あとで残念だと思わないよう、ぜひ応募してほしいです。あなたに新しい世界が待っています。

【】

宮本さんのインタビュー(全文)は下記ホームページから読んでいただくことができます。
JICAホームページ(JICA中国のページ) http://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2014/20140515_01.html

JICAボランティアは年に2度(春・秋)募集!! ▶ <http://www.jica.go.jp/volunteer/>

高校生国際協力体験

プログラム(夏の陣)募集について

中国5県の高校生がJICA中国(東広島市)に集まり、1泊2日の国際協力体験プログラムを実施します。テーマは「国際協力について考える」。参加型ワークショップを通して国際協力について深く知ることができるチャンスです!

日 時: **7/26(土)・27(日)**

会 場: **JICA中国**(東広島市)

締切日
7/4(金)

対 象: 現役高校生

(原則1グループ生徒2~5名、成人引率者1名)

費 用: **2,000円程度** (2日分食費)

各自の復路交通費実費

(5,000円を超える場合は、超過分をJICAが負担)

【JICA負担】

参加者: 往路交通費、復路交通費個人負担額超過分、宿泊費(朝食含む)、保険料

引率者: 往路交通費、復路交通費個人負担額超過分、宿泊費

TPIEF Bulletin TPIEF Projects in 2014

■ Tottori-Vermont Youth Exchange Program \ Happening Now! /

TPIEF runs an exchange program in which students are sent between high schools in Vermont, USA and here in Tottori. This past April saw the arrival of 11 students from Vermont. Activities included school visits, environmentally-themed field trips, and homestays in which they experienced daily life in Japan. This October, students from Tottori will make a trip to Vermont for a similar experience in the United States.

■ Disaster-Prevention Step-Up Seminars \ Coming Soon / [Targeting Foreign Nationals]

Several seminars at various places in the prefecture with hands-on training to help international residents develop essential disaster readiness skills.

■ Intercultural Exchange Gatherings

[For Citizen Participation]

Gatherings of all sorts take place at all regions (East, Central and West), offering fun chances for local and international residents to mingle and meet people from all over the globe.

TPIEF Coordinators

A look at our four coordinators

TPIEF employs four coordinators for international relations at different days and times.

Feel free to drop in whenever they're around.



Yu Wei Zhang

- ① Head Office
- ② Inner Mongolia, China
- ③ Chinese
- ④ 3
- ⑤ Takoyaki
- ⑥ Never lose sight of your goals

张 雨薇

- ① 本所
- ② 中国(内蒙古自治区)
- ③ 中文
- ④ 3年
- ⑤ 章鱼烧
- ⑥ 勿忘初心



Tremain Xenos

- ① Head Office
- ② USA
- ③ English
- ④ 10+
- ⑤ Vegetables, fish
- ⑥ There are all kinds of people in the world. Sometimes it's better to ignore stereotypes.



ゼノス レミン

- ① 本所
- ② 美国
- ③ 英语
- ④ 10年以上
- ⑤ 青菜・魚
- ⑥ 一种米养百种人，有时候还是抛开「先入为主」的观念会比较好!

New Chinese-Language Coordinator Introduction

Ni hao! I'm Yu Wei Zhang, I came to Japan from Inner Mongolia three years ago. I'm looking forward to meeting you.

My home town is a small place in northeastern Inner Mongolia called Jia Ran Ton, which is situated on the border of Inner Mongolia and Heilong Province, so it features a mixture of northeastern Chinese and Mongolia cultures. We speak a northeastern dialect of Chinese, but live on mutton stew, dried beef, and Mongolian milk tea. It's a true meeting of cultures.

I've always been interested in different cultures, and got used to life in Tottori right away. In addition to my scholastic studies, I joined the Shan Shan Matsuri, the executive committee for intercultural exchange events, did a homestay, and took part in a Japanese speech contest. I grew and enriched my life a great deal through all these activities, and would say that this is what study abroad is all about.

Building on my study abroad and life experience in Japan, I'll do my best as Chinese coordinator here. Feel free to visit me any time you have questions about China, Chinese language, or difficulties during your time in Japan.

TPIEF Gains New Managing Director

Our new managing director is Katsuhiko Uchida. We are looking forward to working with him.

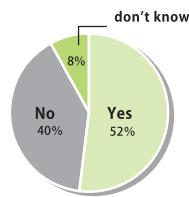
Living in Tottori

NEW!

This month's theme is trash disposal. We put forth a questionnaire and received responses from 83 individuals representing 15 countries. Many thanks to everyone who participated in the survey!

Trash Disposal in the World

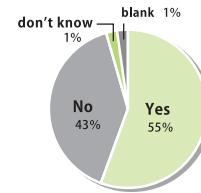
We first asked if rubbish was separated in respondents' native areas. About half said it was, with 40% saying they did not.



| | | |
|-----------------|---|----------------|
| Collection Time | Night | USA, Taiwan |
| Recycling | Direct exchange for money | China, Vietnam |
| | System of points used for tax deduction | Spain |
| | Special boxes for recyclables outside house | USA, Australia |

Direct question! Have you experienced any particular difficulty with the trash disposal system?

The next question was on rubbish disposal customs. In Japan it's expected that trash is taken to the designated spot in the morning, but not a few respondents said this was done at night. Many also said their countries recycle, with a variety of systems in place throughout the world.



Difficulties listed in order of frequency

| | |
|------------|---|
| NO.1 | Separation system too complex to understand |
| NO.2 | Different systems in different areas; little information |
| Runners-up | Didn't know there were special collection bags Combustibles collected too infrequently Used to taking out trash at night; can't remember in morning |

We learned from this survey that more than half of Tottori's international residents find the trash disposal system confusing. Even those who understand that items should be separated may have a hard time with the actual process. It can be quite difficult to achieve a comfort level with the rules of particular areas when living abroad. A clearer system, such as color-coded collection boxes, may be preferable. Ideally, we would like a system in which Japanese and foreign residents can get along amicably with the customs of the region.

TPIEF信息

平成26年度财团的主要事业介绍

■ 鸟取县・巴蒙特州青少年交流事业 \ 已开办 /

本财团与美国巴蒙特州的团体一起实施高中生相互派遣交流的活动。

4月份的时候巴蒙特州来了11位高中生,造访了鸟取县内的高中之外,也与日本的高中生一起以环境为主题视察。另外他们也体验了日本当地的寄宿家庭,度过了快乐的日本生活。10月份将由鸟取县这边派遣高中生至巴蒙特州,并且实施此次巴蒙特州高中生们所做的相同体验。

■ 专为外国人所开办的进阶防灾讲座 \ 即将展开 / 【以外国出身者为对象】

为了排除外国出身者遇到大规模灾害时的不安,鸟取县内各地举办了各种不同的讲座以便让大家可以学习或通过体验增加防灾方面的基础知识。

■ 国际交流集会

【县民参加型活动】

我们也在县内各地区(东部、中部、西部)提供可让大家轻松参加的国际交流的机会,让大家了解世界各国的文化或让外国出身的朋友们能有机会来体验日本的传统文化或习俗等的集会。下一次将会是什么样的活动呢!?让我们拭目以待吧!

财团协调员的介绍

介绍4位财团的协调员。

鸟取县国际交流财团总共有4位国际交流协调员分布在各个事务所。

每一位协调员的上班日期都不一样,欢迎您以轻松的心情来与他们交谈哟!



Yu Lan Liang

- ① Head Office
- ② Gansu, China
- ③ Chinese
- ④ 19
- ⑤ Ramen
- ⑥ I've been in Japan so long that returning to China feels like going to a foreign country. Tottori is my second hometown.

梁 玉兰

- ① 本所
- ② 中国(甘肃省)
- ③ 中文
- ④ 19年
- ⑤ 拉面
- ⑥ 来到日本的时间已经太长了以至于每次回到中国反而像去到国外的感觉。鸟取是我的第二故乡,我会继续加油的!请大家多多关照。

■ 国际交流欢乐节

【县民参加型活动】

与国际交流的民间团体和外国出身的朋友们在县内各地区(东部、中部、西部)共同举办。

※另外还有一些日期等尚未决定的事业,等详细内容确定了,

我们将会在财团的网页或手机简讯随时公布。

除了这次在这里介绍的事业以外我们也计划其他各式各样的事业,敬请期待。

■ 派遣专门翻译的志工 \ 请活用财团的制度 /

我们可以派遣「医疗翻译志工」「社会生活翻译志工」。

住在县内的外国出身的朋友们、医疗・保健机关、学校及行政机关的各位,当您碰到语言上无法沟通的时候,欢迎您到离您最近的财团事务所与我们商量。

问题

- | | |
|-----------|---------|
| ① 任职事务所 | ④ 来日年数 |
| ② 出身国(地区) | ⑤ 喜欢的食物 |
| ③ 担当语言 | ⑥ 简短留言 |

Chiehmei Lofang



- ① Yonago Office
- ② Taichong, Taiwan
- ③ Chinese, Taiwanese
- ④ 13
- ⑤ Anything spicy
- ⑥ I love to talk! Come and have a chat with me!

罗房 婕美



- ① 米子事务所
- ② 台湾(台中市)
- ③ 中文、台语
- ④ 13年
- ⑤ 只要是辣的食物都喜欢
- ⑥ 我是一个爱说话的人,请大家来找我讲话聊天吧~

新协调员(中文担当)的介绍

你好,我叫张雨薇,来自中国内蒙古自治区。今年是我来日本的第三年,请多多关照。

我的家乡是位于内蒙古自治区东北部,一个叫“扎兰屯市”的小城。在小城的西北部是大兴安岭的天然林区,以森林、草原、溪流、山谷等自然风景著名,有“塞外苏杭”的美称。翻过大兴安岭,就是中国最美丽的草原—呼伦贝尔大草原。

我的家乡扎兰屯市位于内蒙古和黑龙江省的交界处,是蒙古文化和中国东北文化的融合地带。比如在这里讲的是中国东北方言,但是羊肉火锅,牛肉干,蒙古奶茶等蒙古料理却是人们生活中不可或缺的美食。我就好像是在一种异文化的环境中成长起来的。

对异文化深感兴趣的我来到鸟取之后,很快的适应了这里的生活。在学校的课业之余,我参加过シャンシャン祭り,国际交流活动的实行委员会,体验日本家庭生活,日语演讲比赛等活动。通过各种各样的活动,不仅自身得到了成长,而且人生也变得更加丰富。我想这正是留学的意义吧。

今后,我会用我留学生活的经验,尽力做好中文国际协调员的工作。如果大家有什么关于中国、中文、或是在日本的学习生活中有什么烦恼的话,请随时和我联系。

新的常务理事任职鸟取国际交流财团

新的常务理事名叫内田克彦。请多关照。

生活在鸟取

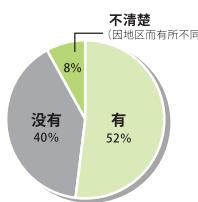
新企画!

这次是以「垃圾处理的方法」为主题。由住在县内的外国出身者协助我们做问卷调查,总共得到15个国家共83位外国朋友的协助。非常感谢各位的帮忙。

请告诉我!

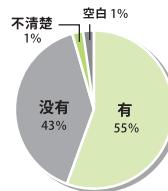
世界各国的垃圾处理情况

首先,我们询问了「在你的国家(地区)是否有做垃圾分类呢?」。回答「有」的人大约是半数左右,相对的,回答「没有」的人也占了百分之四十。



直接询问在住外国出身者! 曾经有过垃圾处理的困扰吗?

接下来,我们询问了出身国(地区)的垃圾处理情况。在日本一般来说都是早上时间丢垃圾、但是在国外也有不少的国家是晚上时间来收垃圾。另外、关于可回收垃圾在很多国家都有做分类,只是回收方法各式各样,每个国家都有他们自己的回收方式。



回答「有」的意见(由多至少的顺序)

| | |
|-----|--|
| 第1名 | 分类分得太细(不清楚分类的方法) |
| 第2名 | 根据地区不同分类的方式也不同,无法得到正确的情报 |
| 其它 | 不知道该使用指定的垃圾袋 不可燃的垃圾的回收次数太少 因为都习惯在晚上丢垃圾,所以早上常忘记把垃圾拿出去 |

由这个调查结果得知,有一半以上的外国出身者对于日本的垃圾处理方式有所困惑。有很多意见是就算知道必须得分类,但是分类的方法并不是很清楚。

住在国外,遵守那个地区的规则让自己生活得舒适并不是一件简单的事。或许我们可以多下一些功夫,比如说根据垃圾的种类而将回收箱分颜色等,让外国的朋友更清楚垃圾该如何分类。不管是日本人还是外国出身者,只要是身为同一个地区的一员,就希望能够让彼此相互舒适顺心的生活下去。



大自然の宝庫とも言えるアマゾン熱帯雨林やアンデス山脈、マチュピチュをはじめアンデス文明の遺跡、民族色豊かな音楽や楽器とその独自の演奏スタイルなど…人々をひき付ける“何か”が無数に存在するラテンアメリカ。現在『2014 FIFAワールドカップ』の熱戦が繰り広げられているブラジルをはじめ、今、世界中から熱い視線を注がれている中南米とカリブ海諸国。その魅力的な文化にちょっぴり浸れる“中南米コーナー”が財団(米子事務所)に登場しています！本や雑貨、写真をとおしてラテンの心を感じてみませんか？



※図書の貸し出しも無料で行っています。
※各事務所で蔵書は異なりますが、最寄りの事務所で取り寄せることができます。



おすすめ図書



『世界遺産になった食文化4』

マヤ文明から伝わるメキシコ料理の秘密が起源から料理の作り方までわかる！



『カポックの木』

(日本語版・英語版・スペイン語版)
南米アマゾン・熱帯雨林のお話。木々や植物、虫や動物たちと人間の関わり方を問う絵本



『ラテン音楽名曲名演ベスト111』

その土地土地を象徴する幅広いジャンルの曲を文化的な背景とともに解説。お宝音源CD付き！

【公益財団法人鳥取県国際交流財団】

あなたもぜひ、贊助会員に！

当財団では、県民の皆様の幅広い支援・参加を得て、皆様とともに県民参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同してくださる贊助会員を広く募集しています。国際交流に興味はあるけど何から始めればいいのか分からないとお悩みの方も、まずは当財団の贊助会員に！きっと楽しい世界が広がるはずです。皆様のご入会をお待ちしております!!

入会方法

【入会対象者と年会費】

| | | |
|-------------------------|--------------|--------------|
| 財団の各事務所で入会を受付けています。 | 個人会員 | 1口 / 2,000円 |
| また、公共施設にも申込用紙を置いていますので、 | 学生会員 (高校生以下) | 1口 / 500円 |
| 必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。 | 団体会員 | 1口 / 10,000円 |

※会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。※途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

会員特典

特典1 財団機関紙(年4回)「とっとり国際通信」の送付

特典2 財団図書貸し出し増冊サービス

特典3 提携飲食店、観光施設等の割引サービス

特典4 提携旅行会社のパック商品等の優遇割引

※提携している飲食店、観光施設、旅行会社等とサービス内容については、ホームページに掲載しているほか、一覧表を機関紙とともにお送りします。

本 所

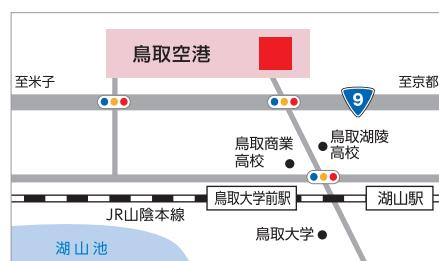
Head Office／总所

〒680-0947

鳥取市湖山町西4丁目110-5 鳥取空港国際会館1F
TEL.(0857)31-5951 FAX.(0857)31-5952
E-mail / tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平 日 9:00～18:00 土・日 9:00～17:30
祝日・年末年始はお休みです



配信中!
登録無料!

- 国際交流イベント情報メールマガジン 「☆TIM☆」(日本語)
- 携帯版多言語メールマガジン 「TORIMO」(英語、中国語、タガログ語)

Kurayoshi Office／仓吉事务所

〒682-0802

倉吉市東巖城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL.(0858)23-5931 FAX.(0858)23-5932
E-mail / tick@torisakyu.or.jp

■利用時間

平 日 8:30～17:15 土日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

Yonago Office／米子事务所

〒683-0043

米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F
TEL.(0859)34-5931 FAX.(0859)34-5955
E-mail / ticy@torisakyu.or.jp

■利用時間

平 日 9:00～17:30 土・日 10:00～17:00
祝日・年末年始はお休みです



各種冊子
配布中!

- 防災ハンドブック ●災害時携帯カード
- コミュニケーションサービスカード